

「日本一の桜の里づくり」計画



平成23年3月
(令和3年3月改訂)

伊那市

目 次

1	はじめに	1
2	伊那市の桜 ～調査結果から～	2
	（1）桜の分布	2
	ア 分布調査	2
	イ 桜の名所	3
3	基本的な構想	4
	（1）基本理念	4
	（2）将来像	4
	（3）体系図	5
	（4）推進項目	6
4	計画の推進	7
	（1）「市民が主役」の桜の里づくり	7
	（2）桜を知り、人を育む桜の里づくり	8
	（3）多くの人が訪れる賑わいの桜の里づくり	10
	（4）広く親しまれる公共施設の桜の管理	12
	（5）ネットワークの構築	13
5	おわりに	14

1 はじめに

桜は、日本を代表し象徴する樹木で、日本人に広く親しまれ、慣習的に日本の国花と見なされています。古来より人々に愛され、春に桜の木の下で宴を催す風習は現代でも盛んです。

また、日本人の精神を象徴するものとしてよく取り上げられます。民間調査機関による調査では、日本人のおよそ8割が桜をとて好きと答えています。咲いている様の美しさはもちろん、花を咲かすためのみに持てる全ての力を使う生命力の強さに惹かれること、咲いてから散るまでの移ろい行く様に、人生や一期一会、幸福、恋愛などを投影すること、咲き終えた後には潔く散る姿を美しいと考えること、そしてこれらを自らに当てはめることは、日本人にとって稀ではありません。

春の象徴として和歌、俳句をはじめ文学全般において非常によく使われており、現代でも多くの音楽、文芸作品が生み出されています。

伊那市においても、「天下第一の桜」として知られる高遠城址公園の「コヒガンザクラ樹林」は、廃藩置県に伴い荒れ果てた高遠城跡を憂いた住民が、明治8年（1875）に桜の馬場から移植したもので、住民の手により守り育てられてきました。

タカトオコヒガンザクラはソメイヨシノより少し小ぶりであり、赤みのある花を咲かせます。園内には約1,500本の桜があり、古くから「天下第一の桜」と称されており、「さくら名所100選」にも選ばれています。昭和35年（1960）には長野県の天然記念物に指定されました。

旧高遠町では、桜に対する取り組みとして、観光資源として活用しながら、その美しさを後世に伝えるため「桜憲章」を定め、保護育成に努めながら、桜からのまちづくりを進めてきました。

伊那市には高遠城址公園、春日公園、伊那公園、六道の堤、三峰川堤防など市全域に桜の名所があるとともに、地域の公民館、学校、堤防など市内に数多くの桜が植えられています。山の桜から里の桜まで伊那市の風景とも溶け合い、伊那市全体が桜の里となり、長い歴史にかかわってきた花となっていることから「伊那市の花」にもなっています。

旧高遠町が進めてきた桜からのまちづくりを継承し、また市内に数多くある桜を活用するため、平成23年に「日本一の桜の里づくり」計画を策定しました。

計画において、絶えることなくいつまでも多くの人々に親しまれる桜の里を目指し、課題に対しての方針の設定や、平成23年から令和2年の具体的な目標をまとめ、取り組みを進めてきました。この間、地域の桜管理の担い手として、地域桜守を育成し、学校教育への活用、市内全域の桜の名所へ観光客の誘導など、それぞれの目標に対し一定の成果をあげることができました。

今後は、関係する計画や組織において、引き続き「日本一の桜の里づくり」計画を推進してまいります。

2 伊那市の桜 ～調査結果から～

平成18年から平成21年まで、桜の分布調査を行い、分析と取りまとめをしました。その後平成28年から平成29年の間に地域桜守により見直しを行い各地域の桜の維持管理へ活用しています。

(1) 桜の分布

市内には、公民館や学校などに多くの桜が植えられ、市民に親しまれています。

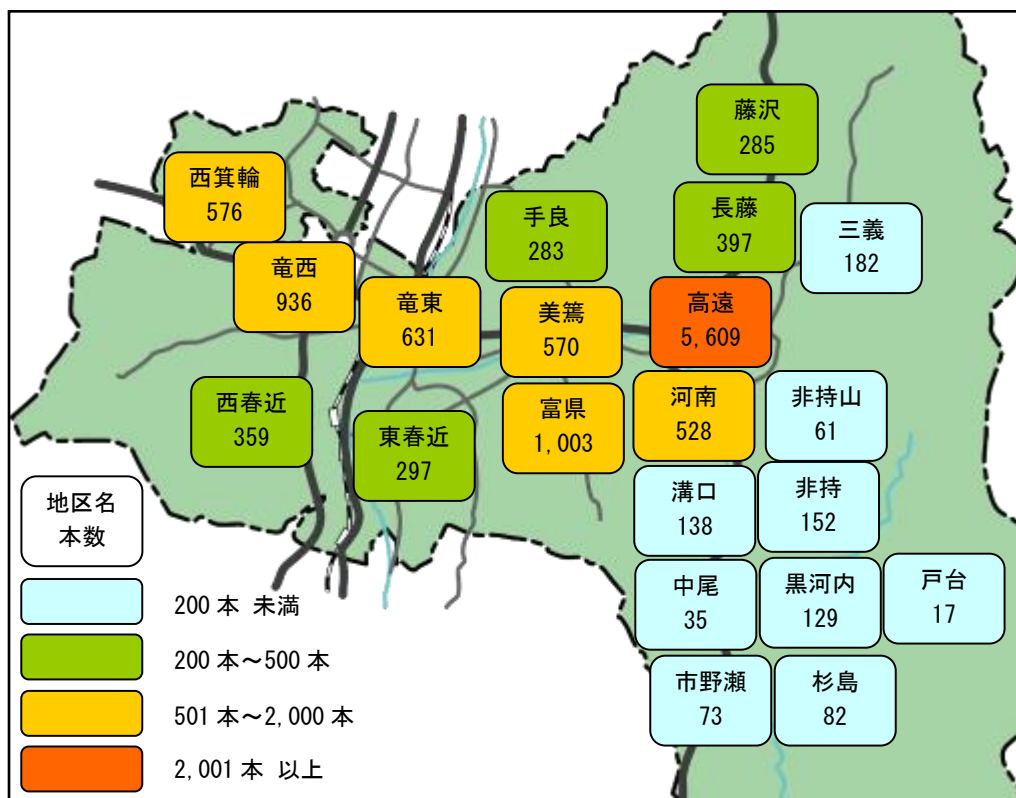
「市民が主役」の桜の里づくりや広く親しまれる公共施設の桜の管理を進めるうえで、桜はどこに、どれだけあるのか把握する必要があるため、桜の分布調査を行いました。

また、多くの人を訪れる賑わいの桜の里づくりに向けて、新聞や書籍等で紹介されている桜を中心に、桜の名所・景勝地をまとめました。

ア 分布調査

調査の結果、高遠地域（西高遠、東高遠）を中心に、国道361号周辺の地域に桜が多いことが分かります。これは、この地域には、高遠城址公園や春日公園、伊那公園、三峰川堤防、六道の堤などの群生地や並木があるためです。

他にも、学校や保育園、公園やグラウンドなど、公共施設にも数多くの桜があり、1万2千本を超える桜が確認されています。「市民が主役」の桜の里づくりや公共施設の桜の適正な管理を進めるうえで、地域と施設管理者、桜守の役割分担を整理する必要があります。



イ 桜の名所

桜の名所は、『いいとこ百選』、『高遠十景』、『高遠風土記』、信濃毎日新聞や長野日報、伊那 MY ニュース等に掲載されている桜を、「一般的に知られている桜の名所」としてまとめました。

傾向として、一本桜は寺社に多く、群生地は公園に、並木は幹線沿いや河川、湖、ため池周辺に見られ、観光客や写真家などが訪れています。一方、これから、さらに観光客を受け入れるためには、景観に配慮した案内看板や駐車場の整備が必要です。

名所以外にも、地域のグランドや公園に植栽されたり、企業の敷地の桜並木などがあり、それぞれ市民に親しまれています。

「一般的に知られている桜の名所」

単木(一本桜)	群生	列生(並木)	散生
見通し桜	春日城址公園	天竜河畔	非持山 山桜
伯先桜	丸山公園(常圓寺)	美原 桜並木	小黒川溪谷キャンプ場
今泉の薬師堂	伊那公園	美篤下県桜並木	権兵衛トンネル手前
宮の原	殿島城跡公園	三峰川堤防桜並木	
守屋神社	仲仙寺	六道の堤	
南原お堂	細ヶ谷グランド	美和湖畔	
水上熊野神社	高遠三峰川河川公園		
勝間薬師堂	桜町の弁天岩		
桑田薬師堂	花の丘公園		
	高遠城址公園		
	野笹農村公園		
	高遠湖畔		
	遠照寺		
	信州高遠美術館		



宮の原



南原お堂



水上熊野神社



美原 桜並木



桜町の弁天岩



美和湖畔

3 基本的な構想

(1) 基本理念

「日本一の桜の里づくり」

伊那市では、コヒガンザクラ樹林を有する高遠城址公園をはじめ、桜の名所が数多く存在しています。伊那市に咲き誇る桜を大切にしながら、市民の桜に対する思いやり、愛着心の醸成を図り、「日本一の桜の里」をめざします。

(2) 将来像

桜は、日本を代表する花であり、伊那市の「花」です。

豊かな自然や人々の生活の中で、桜は育ち、桜を愛する心は人々に様々な良い感性を与え、桜を愛することを通じて人々の友情の輪が広がり、心が結ばれます。

豊かな自然の中で育まれた桜をこれからも増やししながら、適切な管理により保護育成に努めるとともに、絶えることなくいつまでも多くの人々に親しまれる桜の里を目指し、将来像を次のように定めます。

「桜を愛し、育み、親しむ桜の里」

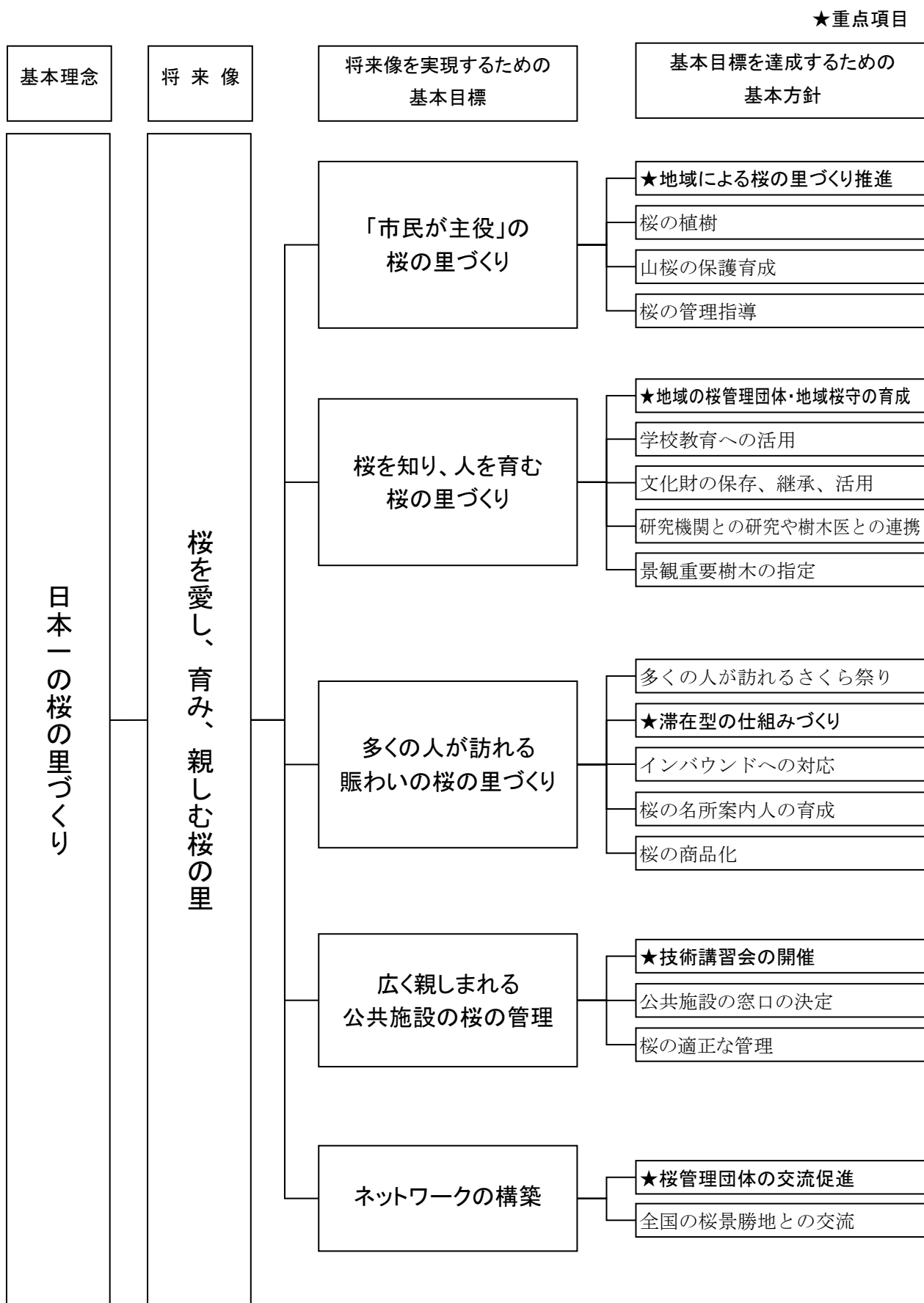
また、将来像を実現するための基本目標を次のように定めます。

- ア 「市民が主役」の桜の里づくり
- イ 桜を知り、人を育む桜の里づくり
- ウ 多くの人を訪れる賑わいの桜の里づくり
- エ 広く親しまれる公共施設の桜の管理
- オ ネットワークの構築

(3) 体系図



(4) 推進項目



4 計画の推進

基本目標や基本方針に基づくそれぞれの取組みを、関係する計画や組織において引き続き推進していきます。

(1) 「市民が主役」の桜の里づくり

市内には、三峰川堤防や六道の堤などの名所をはじめ、地域の公民館、学校、堤防などに数多くの桜が植えられています。伊那市に咲き誇る桜を大切にしながら、市民の桜に対する思いやり、愛着心の醸成、お花見や管理を通じた地域コミュニティづくり、地域ぐるみで美しい景観づくりを進めるため、市民による桜の植樹や地域による観桜資産形成の支援を進めます。

【基本方針における課題・問題点及び目標】

基本方針	課題・問題点	目標
★地域による 桜の里づくり推進	・観光客が楽しむだけでなく、市民が自ら楽しむ桜の里づくり。	・各地域において適切な管理が行えるように、将来に渡り管理できる意識体制づくりを進める。
	・桜は大木になることや、病気、着雪に弱いため、適切な管理体制が必要。	
桜の植樹	・桜の苗木配布が十分に活用されていない。	・植栽を希望する団体と事前に調整し積極的に活用を進める。
山桜の保護育成	・自生する山桜の保護育成。	・山桜を伐採せず、できるだけ残すよう啓発する。 ・山へ桜を植栽する（伊那市に自生する種）。
桜の管理指導	・各地域や事業所敷地内、個人所有の桜の管理は、関心度により管理にムラがある。	・地域桜守の育成計画に基づき、各地区に配置された地域桜守を中心として管理指導を行っていく。 ・桜守の役割と管理技術を伝えていくため地域桜守養成講座を開催。 ・桜管理マニュアルの周知。
		・振興公社の桜守との連携。



【今後の推進体制】

関係する計画や組織	担当部署
・伊那市桜守の会 ・地域桜守	・建設課
・伊那市 50 年の森林ビジョン ・日本さくらの会	・50年の森林推進室 ・耕地林務課
・伊那市 50 年の森林ビジョン	・50年の森林推進室 ・耕地林務課
・伊那市桜守の会 ・地域桜守	・建設課
・伊那市振興公社 ・伊那市桜守の会	・建設課

(2) 桜を知り、人を育む桜の里づくり

桜に対する「思いやり」の精神を育み、桜の保護や育成についての知識を深めるために、地域や学校において、様々な機会を通じて認識を深めることが必要です。

「思いやり」の精神を育みながら、地域で大切にされている桜を適正に管理できる人材の育成を進めるとともに、桜を病虫害、野鳥類等による被害から守るための研究を進めます。

また、すばらしい桜を後世に伝えるために、文化財や景観重要樹木の指定や活用を進めます。

【基本方針における課題・問題点及び目標】

基本方針	課題・問題点	目標
★地域の桜管理団体・伊那市認定の地域桜守の育成	・伊那市認定の地域桜守の育成。	・地域で指導的役割を果たす人材確保のため、定期的な講習会・勉強会を開催し、伊那市認定の「地域桜守」を育成する。
学校教育への活用	・学校における環境教育への活用。	・将来を担う子ども達が、桜を大切にする心を育むために、総合的な学習の時間等で桜に接する場を設ける。 ・三峰川堤防桜並木では美篤小学校による環境教育が行われているが、地域の桜を学校教育に取り入れ、子どもの頃からかわることで、桜に対する愛着を醸成するため、子どもたちによる「桜学校」を開設する。
文化財の保存、継承、活用	・文化財（天然記念物）の保存は古木であるため樹木診断を行うなどの維持と管理が必要。	・文化財（天然記念物）の指定・未指定に関わらず地域に潜在する歴史文化資源の把握を行い、歴史文化の調査を行う。

(つづく)

【今後の推進体制】

関係する計画や組織	担当部署
・伊那市桜守の会 ・地域桜守	・建設課
・第2次総合計画 ・環境教育	・学校教育課
・文化財保護法 ・伊那市文化財保護条例	・生涯学習課



【基本方針における課題・問題点及び目標】

基本方針	課題・問題点	目標
研究機関との研究や樹木医との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・タカトオコヒガンザクラを絶やさないための純粋な種苗生産の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者によるさくら専門指導員会を設置し、桜の保護・育成・管理について専門的な見地から調査研究及び指導、助言を行う。
景観重要樹木の指定	<ul style="list-style-type: none"> ・景観重要樹木の指定後、管理が義務化され、伐採、移植に許可が必要となり、臨機応変な対応が難しくなる。 ・所有者の意向による指定解除ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観重要樹木の指定方針について、計画に掲載されている「一般的に知られている桜の名所」を参考に、引き続き検討を行う。



【今後の推進体制】

関係する計画や組織	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> ・さくら専門指導員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速商工観光課
<ul style="list-style-type: none"> ・景観法 ・伊那市景観条例 ・伊那市景観計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備課

(3) 多くの人が訪れる賑わいの桜の里づくり

市内には、高遠城址公園をはじめ、春日公園、伊那公園、六道の堤、三峰川堤防、美和湖畔、勝間のしだれ桜などの桜の名所が数多くあり、地域の皆さんによって愛され、受け継がれ、親しまれています。

市民の桜に対する「思いやり」の精神によって育まれたすばらしい桜を、多くの人と分かち合える取り組みを進めます。

【基本方針における課題・問題点及び目標】

基本方針	課題・問題点	目標
多くの人が訪れるさくら祭り	・「高遠城址公園さくら祭り」の観光客数の減少。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の立場に立った魅力ある観光地づくり。 ・また来たいと思ってもらえるようなおもてなしの心の醸成と満足度アップのための施策。 ・ユニバーサルデザインに配慮したピクトグラムや案内看板の整備。 ・時代とニーズに合った情報発信ツールの研究・開発。 ・新たな企画を取り入れながら、宿泊につなげる取り組みを検討する。
	・「高遠城址公園さくら祭り」期間中、特に土日に集中するマイカーを中心とした渋滞とその緩和策。	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな道路網を活用した重大な交通渋滞を防止と生活道路の確保。 ・市役所駐車場を活用したパーク&ライドの実施と新たな駐車場の研究。
	・障害者への対応。	<ul style="list-style-type: none"> ・身障者用駐車場の整備及び確保。 ・インターロッキング歩道の段差解消。

(つづく)

【今後の推進体制】

関係する計画や組織	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画 ・伊那市観光実施計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光課 ・高遠商工観光課 ・伊那市観光協会
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画 ・伊那市観光実施計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光課 ・高遠商工観光課
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画 ・伊那市観光実施計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光課 ・高遠商工観光課

【基本方針における課題・問題点及び目標】

基本方針	課題・問題点	目標
★滞在型の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ノープラン旅行者の増とその対策。 ・観光ニーズの多様化、複雑化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的別パンフレットの活用と交流人口増加を促進するための周遊させるための仕組みづくり。 ・観光客のニーズに合った確かな観光案内。 ・市内での滞在時間と経済効果をあげるための商工団体や民間事業者の積極的な参画。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高遠城址公園を核とした春日公園、伊那公園への誘客（城址公園だけでなく市内各所へ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の3つの公園の差別化を利用した観光客の周遊化とニーズへの対応。 ・商工会議所主導によるイベントの開催を展開。
インバウンドへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド（外国人観光客の誘致）対応とその対策。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語標記のパンフレット及びホームページ等による誘客。 ・案内看板等の見直し。
桜の名所案内人の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会主導によりガイドの研修・養成を実施しているが、高齢化により構成員は伸び悩んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生など、若年層のガイド養成を推進する。
桜の商品化	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物としての桜の特産化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の地域特産化。 大島桜…葉 関山…花



【今後の推進体制】

関係する計画や組織	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画 ・伊那市観光実施計画 ・伊那市商工業振興ビジョン 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光課 ・商工振興課 ・高遠商工観光課 ・伊那市観光協会
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画 ・伊那市観光実施計画 ・伊那市商工業振興ビジョン 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光課 ・商工振興課 ・高遠商工観光課 ・伊那市観光協会
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画 ・伊那市観光実施計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光課 ・高遠商工観光課 ・伊那市観光協会
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次総合計画 ・伊那市観光実施計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光課 ・高遠商工観光課 ・伊那市観光協会
<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市農業振興センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・農政課

(4) 広く親しまれる公共施設の桜の管理

高遠城址公園や春日公園、伊那公園などの公園や運動場、学校や保育園などの公共施設の桜は、春の景観の一端を担い、広く市民に親しまれています。

今後、市民と協力しながら、市民の財産でもある公共施設の桜の適切な管理を進めます。

【基本方針における課題・問題点及び目標】

基本方針	課題・問題点	目標
★技術講習	・施設管理者が管理するための管理技術の習得。	・施設管理者が管理するための管理技術習得のため、振興公社の桜守による指導、講習会の開催。 ・振興公社の桜守への管理委託。 ・地域桜守養成講座を定期的に行う。あわせて地域桜守のスキルアップ講座を兼ねて実施。
公共施設の窓口の決定	・公共施設等の桜に関する窓口が一本化されていない。	・公共施設等の桜の管理作業は、市民や施設管理者等より、剪定等管理依頼申請書を建設課へ提出。建設課より振興公社桜守へ依頼する方法に統一する。
桜の適正な管理	・桜の管理にあたっては、関係全課による横断的連携が必要。	・公共施設等の桜については、建設課より振興公社桜守へ管理依頼。 ・その他施設においては、各施設管理者より管理依頼。



【今後の推進体制】

関係する計画や組織	担当部署
・伊那市桜守の会 ・地域桜守 ・伊那市振興公社	・建設課
・関係全課 ・伊那市振興公社	・建設課 ・伊那市振興公社
・関係全課 ・伊那市振興公社	・建設課 ・関係全課 ・伊那市振興公社

(5) ネットワークの構築

市内の桜の名所は、桜愛護団体によって手入れが進められています。今後、愛護団体の管理技術向上や連携をめざし、ネットワーク構築を進めます。

全国では、桜を地域振興の核として利用することを考えている市町村が集まり、さくらサミットや全国さくらシンポジウムが開催され、情報交換が進められています。

【基本方針における課題・問題点及び目標】

基本方針	課題・問題点	目標
★桜管理団体の交流促進	・地域（公民館・グラウンド等）の桜の管理は、関心度にムラがある。	・伊那市桜守の会及び地域桜守を中心とし、将来に渡り管理できる意識体制づくりを進める。
全国の桜景勝地との情報交換	・他の景勝地の取り組みの研究。 ・他の景勝地と連携した誘客。	・さくらサミットへの参加や日本三大名所などとの連携を通して、他の景勝地の取り組みを研究し、桜の里づくりを進める。



【今後の推進体制】

関係する計画や組織	担当部署
・伊那市桜守の会 ・地域桜守	・建設課
・第2次総合計画 ・伊那市観光実施計画	・観光課 ・高遠商工観光課

5 おわりに

伊那市には、タカトオコヒガンザクラ・ヒガンザクラ・ソメイヨシノ・シダレザクラ・ヤマザクラなど多くの桜が植えられ、多くの景勝地が存在し、地域の皆さんによって受け継がれ、親しまれています。

桜を育て、鑑賞することは、人々の心に様々な良い感性を与え、芸術や科学的な考察の糧となります。これからも、豊かな自然の中で、伊那市の桜を適切に管理をしながら保護育成に努め、確実に後世に伝えなければなりません。

「日本一の桜の里づくり」を進めるため、何気なく桜に接するのではなく、「桜に対する思いやり」を意識して取り組んでまいります。